



いよいよ明日からスキー教室です



いよいよ明日はスキー教室当日を迎えることになります。スキー教室に向けて、特に実行委員は、朝早く、また放課後に残って、どうすればみんなにとって思い出に残るスキー教室になるのかを常に考えながら、スローガンを決め、ルールやマナー、レクリエーションなどについて長い時間話し合ってきました。

スキー教室がとても楽しみな人、初めての中学校での宿泊行事で不安な人など、さまざまだと思います。最終日の解散するときに「楽しい3日間だった！」と一人でも多くの人たちが思えたらスキー教室は成功だと思います。

明日に向けての詳しい話は、本日の前日指導で話されます。

改めて、「みんなが楽しめるスキー教室」にするためには、どう行動すればよいかみんな考えてみましょう。

① 「静かにする時」と「話をしても良い時」の区別をつける！

しおりのルールとマナーのページにも記載しましたが、今回のスキー教室は川越校外学習のようにずっと班行動で過ごすわけではありません。部屋班やスキー講習班で過ごす場面もありますが、クラスや学年単位で行動する場面もあります。特に、学年単位で集まった場面では、皆さんに対して必要な連絡や指示をすることがあります。そういった場面では、「静かにする」ことを意識してください。「話を聞く」ことの大切さについては、これまでもずっと伝えてきたことです。スキー教室では、先生たちから言われなくても、自然にできることを期待しています。

② ルールとマナーはしっかりと守る！

先ほども伝えた通り、実行委員を中心に皆さんにとって思い出に残るスキー教室にするために必要なルールとマナーを放課後に残って検討してきました。スキー教室は学校の教育活動の一環として位置づけられており、個人的な旅行ではありません。また、大きな集団で動くことが前提であり、宿舎やインストラクターの方をはじめ、多くの人たちの支えがあって成り立つ行事です。だから、ある一定のルールとマナーが必要になるのです。スマートフォンなど、持ってきてはいけないものを持ち込むことがないようにしていきましょう。意図的な（ダメだと分かっているにもかかわらず）ルール違反は、先生たちや実行委員の人たちも嫌な思いをしますし、違反をしてしまった自分自身も嫌な思いをしてしまいます。決められたルールとマナーはしっかりと守りましょう。

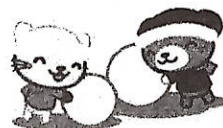
③ 人の嫌がる言動はしない！

スキー教室は宿泊を伴うので、学年の皆さんと寝食を共にします。普段の学校生活よりも長い時間を学年の仲間と過ごすことになります。そうした中で、宿舎での自由時間などで、身勝手な発言や行動で相手に嫌な思いをさせてしまうと、当然スキー教室が嫌な思い出になってしまいます。また、スキー実習中について

も同様です。スキーや運動が得意な人もいれば、苦手な人もいます。お互いに励まし合いながらスキーを楽しんでもらいたいと思います。3日間終えた時、一人ひとりが「楽しかった」と心から思えるスキー教室になるように、皆さん自身の手で築き上げてください。

④ 自分のことは自分で！

今日、家に帰ってから荷物の準備をする人も多いと思いますが、保護者に全てやってもらう、ということはないでしょうか？ 持ち帰ったしおりの荷物のページを見ながら、改めて自分で荷物を確認・準備をしましょう。また、宿舎の部屋の中でも、荷物の整理や入浴の仕方、食事などで普段の生活が現れることがよくあります。他人にやってもらうのではなく、まずは自分で身の回りのことはできる力を身に付けることが大切です。自分のことは自分でやりましょう。



□保護者の皆様へ

明日から3日間、スキー教室が始まります。改めて、スキー教室実施に際しての確認です。

- ①欠席・遅刻する場合は、**6:50~7:00に学校の電話に直接ご連絡ください**（その時間帯の留守電設定を解除します）。生徒たちの**集合時間は7:05**となっています。
- ②当日の朝、検温をはじめ、健康状態のご確認をお願いします。発熱やのどの痛み、咳や鼻水、腹痛などの症状がみられる場合は、無理をさせず、参加を見合わせていただきたくお願いいたします（解熱剤などの頓服を服用しての参加もお控えください）。
- ③1日目の昼食として、**ご家庭よりお弁当（捨てられる容器）と水筒**を持参させてください。
- ④スキー教室中、体調不良やケガ、トラブル等が生じた際は、現地より電話連絡させていただく場合があります。電話に出られず、着信を確認した場合、折り返しのお電話をいただきますようお願いいたします。
- ⑤3日目の**解散予定時刻は17:30頃**ですが、交通状況によって遅れが生じることがあります（バス会社によると18:00頃になる可能性もあるとのことです）。変更が生じた場合は、スグールでお知らせすることがございますので、ご確認ください。

スキー教室の持ち物 必ず持っていくもの 確認してね！

スキー実習で着るもの （しおりでよく確認し、必要なものを持っていく。）

例 厚めの下着 アンダーシャツ 学校ジャージ or スエット or トレーナー or フリース
レギンス or ジャージ ハイソックス ネックウォーマー （必要ならば）

例



+



+ スキーウェア上下

着替え 下着 （2日分~3日分） ソックス □（2~3足分）

パジャマ □ 体温計 □ ビニール袋 （3枚くらい） □

タオル □ 歯ブラシ □ 歯磨き粉 □ バスタオル □

しおり □ 筆記用具 □ 水筒 □ ハンカチ □ ティッシュ □ マスク（6枚） □

1日目の昼食弁当 □ エチケット袋 □ 靴袋 （スーパーの袋など） □